



# きゅうしょくだより

2026年度  
通園事業  
あゆみ

新年度が始まって1ヵ月が経ち、本格的に給食もスタートしていきます。ご家庭の食事とはメニューも食器も違い、戸惑う様子もあるかと思えます。少しずつ慣れていけるように、安心して食べられる環境設定や楽しみになるような給食づくりを心掛けていきます。

5月は夏のように暑くなる日もあるので、水分補給をしっかりと行い元気に過ごしましょう。

## そらまめって どんな豆？

そらまめは、さやが空を仰ぐように上に伸びることからこの名が付いたといわれます。大きめのさやの中には豆が2~4個入っています。豆の爪の黒い部分を「お歯黒」と呼びますが、これは熟度の目安にもなっています。旬の出始めは色が薄めですが、時期が終わりに近づくと黒いものが多くなります。

## 食育活動のお知らせ

5月8、22日に、そらまめのさやむきを行います。むいたそらまめは各自持って帰りますので、ご家庭でも味わってください。当日の給食では、「ゆでそらまめ」を提供します。



## 端午の節句

端午の節句（5月5日こどもの日）は、その昔、男の子の健やかな成長と出世などを願う日でした。奈良時代から続く古い歴史ある行事で、もともとは、菖蒲の葉で厄を払い無病息災を願うものでしたが、これが男の子の節句として鎌倉時代以降に定着しました。菖蒲は、武士の心を重んじる意味の「尚武（しょうぶ）」、と戦いを意味する「勝負」と同じ発音であることから、武家にとって縁起の良い花といわれていました。端午の節句には、菖蒲の他、こいのぼりや鎧兜を飾り、お祝いをします。

